

平成19年度 会務報告

事務局長 宮下 敏



1 一般経過報告(概要)

- 5月7日 第5回常任委員会
第2回監査委員会
8日 平成19年度定期総会
第1回組織検討委員会

18～19日 第1回常任委員会

21～22日 第1回企画・策定委員会
第1回研究推進委員会

6月 7～8日 平成19年度全へき連春季総会

14～15日 第2回常任委員会
第2回組織検討委員会

27日 全へき新聞執筆者集約

29日 「道へき・複連情報」129号発行

7月 2～3日 第2回策定委員会

第2回研究推進委員会

14日 道へき・複連OB会役員会

25日 全へき新聞執筆者へ依頼
執筆者一覧報告(全へき連へ)

8月 3～4日 第3回組織検討委員会

5～6日 檜山プレ大会挨拶回り

25日 道へき・複連OB会定期総会

9月 19日 第3回常任委員会

20日 第1回監査委員会、評議委員会

20～21日 第56回全道へき地複式教育研究
大会空知大会

27日 檜山プレ大会開始(～11月9日)

10月 17日 全へき連秋季総会

18～19日 第56回全国へき地教育研究大会
奈良大会22～23日 第3回策定委員会
第3回研究推進委員会23日 第23回北海道へき地複式教育実
践研究発表大会

11月 22日 「道へき・複連情報」130号発行

12月 8日 道へき・複連OB会役員会

1月 11日 第2回企画・第4回策定委員会

28～29日 第4回常任委員会

第4回組織検討委員会

2月 14～15日 第5回策定委員会

第4回研究推進委員会

29日 「道へき・複連情報」131号発行

2 一般業務報告

平成19年度においても、研究、組織、教育条件整備等の当面する課題について、新たな展望のもとにその解決に向け努力して参りました。ここにその概要を申し上げます。

◆研究面では、第7次長期5か年研究推進計画の4年次に当たり、第56回全道へき地複式教育研究大会空知大会(6市3町10分科会)、第57回全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会(5町7分科会)、第23回北海道へき地複式教育実践研究発表大会を開催致しました。各地区へき・複連、並びに、会場校の多大なご努力とご協力によって、全道に実践的な研究成果の発信・交流が行われるとともに、今後の研究推進に明るい展望を拓く大きな成果を上げることができました。実践研究発表大会は、ホテルライフオート札幌を会場に、全道各地のへき地・複式教育の実践の発表・交流をもとに、活発で建設的な協議が行われました。近年の実践発表内容及び研究協議の充実がへき地複式教育の充実・発展に大きく寄与するものと考えます。講演は、演題「地域と学校から学ぶ教師教育」で、講師の北海道教育大学へき地教育研究センター高嶋幸男氏に行っていたいただき、現場にとって示唆に富む内容でした。

◆今後の全道へき地複式教育研究大会については、平成25年度までの開催予定地区を定期総会にて決定しました。さらに、平成23年度の全国へき地教育研究大会北海道大会については、上川地区にて開催することを評議員会で決定し、全道的な協力のもと受け入れ体制を整えていくことを確認しました。

◆組織面では、市町村合併や地方財政逼迫、児童数減少等により、へき地・小規模校の統廃合が進み、加盟校及び会員の減少傾向が続いております。これに伴う今後の組織や運営について、組織検討委員会の答申を受けて、近年、次のように、組織・運営のスリム化に努めてきたところです。

・16年度からの評議委員会・事務局長合同会議の廃止